

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価書】

中学校区におけるめざす子ども像  
人と人との交わり、つながりの中で、「人間性豊かな心」「たくましく生きる力」「学び続ける姿勢」を持つ子 ～明るく元気・自ら学ぶ・仲良く助け合う～

堺市立庭代台中学校  
校長 山口 和宏

令和6年度 重点目標  
本校教育目標を「人と人との交わり、つながりの中で『豊かな心』と『生きる力』を育てる」とし、これを実現するための重点目標を、「自分の良さに気づき、他者を認め、人とつながり協働する子どもの育成」「子どもが学習するための最適な方法や形態を考えた授業づくり」「ICTを活用した授業の推進と情報活用能力の育成」「信頼される学校、信頼される教員をめざす」と設定した。

**確かな学びの現状**  
○静謐な環境での授業が実施され、生徒も意欲的に学習に取り組む姿勢がみられる。  
○堺市学習・生活状況調査(令和5年度)の結果から、「授業中は学習に集中しているか」の肯定的回答は、現3年生が約84%、現2年生が約94%であった。また「問題を解いて間違ったとき、間違えた理由を考えているか」の問いに対する肯定的回答は、現3年生が約86%、現2年生が約87%となった。これらのことから、学習意欲の高さが伺われる。

**豊かな心・健やかな体の現状**  
○堺市学習・生活状況調査(令和5年度)の結果から、「将来の夢や目標を持っているか」に対する肯定的回答は、現3年生が約56%、現2年生が約75%であった。「新しいことを知るの楽しい」の肯定的回答は、現3年生が約92%、現2年生が約93%であった。現3年生は、2項目が結びつくことができれば、将来への期待値が大きくなると考える。  
○堺市学習・生活状況調査(令和5年度)の結果から、「外で体を動かすことは好きですか」に対する肯定的回答は、現3年生が約75%、現2年生が約81%あった。昨年度と比較すると、若干ポイントが減少した。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～10月)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	授業改善	○子どもは生まれながらにして有能な学びてであるという「子ども感」を大事にした授業を行う。 ○子どもが主体的に学ぶ姿を捉え、「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善を図る。	●★子どもが自ら学びを進め、他者との協動的な学びを展開していく。  ●★ICTを効果的に活用する等、子どもの自尊心が醸成する授業を展開していく。	子どもの学びに対する充実度と達成度。  子どもが学習成果をどのようにして表現しているか。	学習状況調査等  学習状況調査等	10月年度末  10月年度末	○  △	○  △	○「授業では…教え方を工夫している」「学習評価は納得できる」等の先生方からの働きかけはとも評価が高く、先生方の尽力が生徒にも伝わっていることが見てとれる。 ○主体的な学び・協動的な学びの姿勢は、生徒には根付きつつあるのか。 ○入試日程の改革、自動採点の導入等の取組が、先生方の授業改善に向けた時間的な余裕や、生徒の主体的に学ぶ姿勢の醸成に繋がっているかが気になる点である。
	授業研究の充実	○子どもが自己調整しながら学習を進め、個別最適な学びと協動的な学びの一体的な充実に努める。 ○現状の課題解決のための研修を積極的に実施し、授業力向上をめざす。	●★研究授業日を設定し、授業づくりと信頼ある評価について研究する。 ●校外で実施の教科研究研修等に参加すること等により積極的な研究に努める。  ★堺市学力学習状況調査や学校アンケートの各種調査結果を活用し、検証分析を行い、授業改善につなげる。	公開授業等の実績・成果  課題に対して、効果的に研修を実施したか。	実施状況 公開授業 校内研修  学習状況調査等	10月年度末  10月年度末	○  △	○  ○	○授業改善、いじめ防止、個人情報の適切な取扱、進路業務等あらゆる課題に対する研修を積極的に実施した。また子どもが自ら学びを進めることができる学習指導(支援)の研修も行ったが、今後もこの研修を継続し、子どもの主体性を伸ばす授業改善に取り組む。
豊かな心・健やかな体	道徳授業の実践	○人権尊重の精神に立ち、望ましい人間関係の形成し、自他の尊重や実践力を養う。 ○人権に関する知的理解と人権感覚の育成する。 ○子どもの自尊心を醸成する。	●★人権尊重の精神に立ち、子どもたちの望ましい人間関係の形成と自他尊重を養う道徳教育の実践する。  ★オープンスクール期間に、授業公開し、幅広く意見を徴収し研究を深める。	子ども個人や集団としての成長やその過程。  公開授業等の実施実績。	アンケート 学習状況調査等  学習状況調査等	年度末  年度末	○  ○	○  ○	○「人の気持ちがわかる人間になりたい」の高評価の回答が、中学生の素敵なところと思う。「人権の大切さについて学ぶ機会が多い」の肯定的回答が90%近くであるのは、先生方の尽力のおかげだと考えている。 ○オープンスクール期間、保護者の姿をあまり見かけない。学校外の方に教育活動を見てもらうことは、先生や生徒にとって重要と思うが、そこから広く意見を徴収できるか。
	健やかな体の育成	○自尊感情の高揚と個性の伸長をめざす。 ○命を守り、安全で安心した活動を可能とする環境づくり。 ○計画的で組織的に、食育を推進する。	●★体育活動の活性化や、スポーツ活動に親しむ機会を充実させること等から、運動習慣を育む。  ●★栄養教諭をリーダーとして、中学校区での食育に積極的に取り組む。また、地域や家庭と連携して子ども食への意識向上をめざす。	体育・スポーツへの取組姿勢や体力テスト等の結果。  「食育の視点」に基づいた意識や行動の成長。	体力テスト等  学習状況調査等	年度末  年度末	○  ○	○  ○	○「自分には良いところがある」の生徒肯定回答は、85%と昨年比1%上昇、一昨年比7%上昇した。子どもの自尊感情が高揚する支援を継続したい。また全員喫食制中学校給食の開始を控え、栄養教諭を中心に、小中一貫した食育を積極的に推進していく。
地域協働	信頼される学校	○家庭や地域から信頼される学校でなければならない。	●★学校ホームページ、学校だよりを活用し、教育活動の情報を発信する。	スピード感をもった情報発信	アンケート	年度末	○	○	○アンケート結果から、ホームページでの情報発信や開かれた学校への取組がしっかりとできていると感じる。保護者と学校と、よい関係が築けているのではないかと感じる。 ○中学生が地域のことを大切に思い、地域のために活躍してくれていると感じている。地域としても、意識を高く持った中学生にもっと活躍の場を提供できればと思っている。
			●地域とともに歩む学校づくりをめざす。大人からの積極的に「あいさつ」を実践する。	あいさつ・行動・スピード	アンケート 地域の評価	年度末	○	△	△

**校長より(年度末)**  
保護者の皆様、生徒の皆さん、学校教育アンケートへ回答いただき、誠にありがとうございました。学校アンケートの1問め「学校へ行くことが楽しい(楽しみにしている)」に毎年注目をしています。生徒の肯定回答は、昨年度89%でしたが今年度86%と少し低下しました。一方で保護者の肯定回答は、昨年度81%から今年度84%と少し上昇しています。生徒と保護者の数値が近いことから、生徒は学校での状況を家庭でもよく話をしていないかと推測しています。一方で「楽しくない」と感じている生徒へのサポートは必要であると考えています。教育相談、いじめアンケート等を中心として生徒が思いを積極的に相談しやすい環境と整え、丁寧に対応していきたいと考えています。  
生徒が安全安心な学校生活を送り、自主的に考えそして実行できる力を育成できるように、今後も生徒支援のあり方を研究してまいります。そして地域として信頼される中学校を目標していきます。また今回実施しました学校教育アンケートの結果は、後日お知らせいたします。

**学校関係者評価者から(年度末)**  
○授業は落ち着いていて、生徒の頑張りと、先生の子どもたちへの丁寧な支援がよく伝わってきます。地域でもしっかりと見守ってきたい。  
○学校に訪問した際の子どもたちの気持ちのいい挨拶、授業に取り組む姿勢等、素晴らしいと感じる。特に体育大会での規律正しい行動と、仲間を思う声援には、非常に感銘を受けた。  
○授業内外の多様な教育環境の変化で、先生方も研修や諸対応に追われ大変と思うが、今後も地域に開かれた庭中であり続けてほしい。  
○50期生の卒業証書授与式は、非常に感動的な式であった。「卒業の歌」として全員合唱を2曲聞かせていただいたが、本当に素晴らしい合唱で涙が出てきた。  
○中学生は、地域にとっても大切な存在である。御池台・庭代台と一緒に盛り上げていければ期待している。